

厚生 福祉

 時事通信社

104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信社
昭和28年5月30日 第3種郵便物認可
毎週2回火・金曜日発行(但し祝日を除く)
購読料金 税抜月額4,100円
本誌掲載記事・写真などの無断複写、複製、転載を禁じます。
©時事通信社2015
◎誌面内容に関するお問い合わせ(編集部)
kousei-dokusha@jiji.com

目次

特集 発達障害者の才能発掘も重要 世界 自閉症啓発デーでシンポジウム	2
公立病院、将来像の明確化を 新改革プ ラン策定へガイドラインー総務省	4
社会保障も対象、行政レビュー強化 民間 視点で無駄削減ー政府	5
国立公園内の地熱発電促進へ 施設の高さ 制限など緩和ー環境省	6
中央省庁ニュース	8
高齢者住宅を市街地に誘導 国交省検討 会の報告案/必要病床数の推計公表へ 都道府県別、連休前後にも一政府専門調 査会 ほか	9
2015年度都道府県・政令指定都市予算 ⑮静岡市、堺市、大分県	10
地域を支える(秋田県)	13
地域包括ケアのすすめ 第8回	14
私たちの工夫	15
学会・医療情報	16
事件・事故・裁判	17
ニュースフラッシュ	18
【福祉・子ども】介護のキャリアパス成功 事例集/待機児童ゼロ達成 ほか 【環境・ ゴミ】ふるさと納税で「ミライ」貸し出し ほか	

五歳の誕生日

ニュージールランドの教育に関して視察する機会があった。

当地の友人が紹介してくれた、現ニュージールランド首相が卒業したという中学校を訪ねた。教員や日本からの留学生たちも親切に案内や説明をしてくれる。中学といっても日本とは少々学年の区切りが異なる。この学校は日本でいう小学校六年生と中学校一年生が学んでいる。

その時、彼らが当たり前のように発した言葉は、帰国した今も頭の中をグルグルと回っている。小学校入学は五歳の誕生日からです、というものだ。日本人の私が???となったのは、入学式はどうするの?四月に入った子と三月に入った子の進

社会福祉法人新生会
名譽理事 長・石原美智子



級はどうなるの?などだ。早速友人にメールで問い合わせたが、もう一つ分かりにくい。どうも様々なことを学校側が決めるらしい。

日本では全国一斉に入学式で学校生活をスタートさせ、一年が経てば理解の程度は別として二年生になり、そのようにして六年生で小学校を卒業し、中学校へ行くが、どうもニュージールランドはその子に合わせた理解度で進級をしたり、その子の得意な学科を選んで学んだりできるようになっているらしいということであった。

このシステムを有効に機能させようとするれば、当然のことながら、受け入れる側、即ち学校の教員の一人一人の力量が問われる。国が示す指導要

領に従って黒板に向かっていることはできない。子ども一人一人をよく見てその子に合わせなければならぬからである。それと共に、子どもや家族も、一人一人が他人と異なることに何の違和感も持たないことである。個々が異なること、自分の人生は自分が責任を持たなければならないことこそが自立ということなのではないか。

我々介護の現場で、自立支援ということを言われるが、自立の文化を持たないわが国では、結構ハードルの高いことだと改めて思う。

教育の在り方がベースになって文化が生まれる。オーストラリアや北欧などの視察で福祉の在り方を学ぶが、どんなにお金をつぎ込んで制度をいじっても同じにならないのは、根っこにある国民意識の違いが異なるものを作り上げていることを改めて知る機会となったのである。